

株式会社ヘルツ

1 キー入力リモコン

[HPB-030-1K3D]

取扱説明書

A. リモコンキット概要

- ・最大 8 個までのきおくが可能です。
- ・任意のボタンにマクロ設定が可能です。
- ・1 つのマクロには最大 10 個のボタンを登録できます。
- ・きおく及びマクロは単体で消去可能です。
- ・きおく内容及びマクロ設定を全て消すことも可能です。
- ・マクロ設定の際、インターバル時間を自由に設定できます。

マクロ機能とは

ボタンを 1 つ押すだけで、最大 10 ステップまでの操作プログラムを実行する機能です。

たとえば、8 のボタンに 1 , 2 , 3 , 4 , 5 のボタンを組み込んだ場合、8 のボタンを押すと自動で 1 , 2 , 3 , 4 , 5 のボタンを押すのと同じ動きを行います。

詳しくは、「マクロ設定方法」を御覧ください。

B. リモコンキット用 1 キー入力システム概要

上記のリモコンキットにこのシステムをつなぐことにより、1 キー入力リモコンになります。

- ・1 ボタンだけで、リモコンキットの基本操作（信号送信の 8 ボタンの操作）が行えます。
- ・操作方法が 3 種類有り、好きな操作方法を選択できます。
- ・スキャン時間、長押し時間を変更できます。
- ・ビープ音の有無を選択できます。
- ・大きいスイッチ、小さなスイッチや平らなスイッチなど色々なスイッチを利用できます。

DIP スイッチは、P.S.2 P.S.1 BEEP SCAN の 4 つ有り、それぞれ P.S.2 P.S.1 でプログラムの選択、BEEP で音の有無、SCAN でスキャン及び長押し時間を変更します。

きおく方法

ワンキーリモコンのきおく方法は特殊なため、本項を熟読して下さい。

1. ケースを開けて下さい。

ケースは設定が全て終わるまで、開けたままにしておいて下さい。

P.S.2 を ON、P.S.1 を OFF に設定して下さい。

BEEP を ON にして下さい。

これ以外の設定でもきおくは可能ですが、その場合操作手順及び確認が非常に複雑になるため、お勧めいたしません。

これ以外の設定できおくを行う場合は、ワンキー入力システムの操作方法を熟読の上、お客様の判断で設定をお願いいたします。

2. 電源を入れるとピッと音が鳴り、ランプの1番(ケーブルが出ている側)が点灯します。

このモードでは、操作ボタンを押して離れたときにランプの点灯場所が変わります。

操作ボタンを長押しするとピーッと音が鳴り、リモコンキットのボタンを押したことになります。

ピーッと音が鳴ったあとに操作ボタンを離すと、ピッと音が鳴り操作可能状態になります。

3. きおくさせたいボタンの位置まで、ランプの点灯を移動させて下さい。

たとえば、3のランプを点灯させたい場合は

電源投入 1のランプが点灯

操作ボタンを押して離す 2のランプが点灯

操作ボタンを押して離す 3のランプが点灯

となります。

4. きおくさせたいボタンの位置までランプを移動させたら、本機の学習ボタンを長押しして下さい。

5. 学習のランプが点滅表示になりましたら、操作ボタンを長押しして下さい。正常に判定されると、ピーッと音が鳴りますので、操作ボタンを離して下さい。操作ボタンを離れた際にピッと音が鳴ります。

この時、学習ランプが点滅から点灯に変わります。

6. 学習 LED にきおくさせたい信号を入力して下さい。

きおくに成功すると、学習ランプが点滅表示に戻ります。

きおくに失敗した場合、学習とマクロのランプが5回点滅します。

操作ボタンケーブルが出ている方の反対側に有る LED が、きおく可能 LED になります。それ以外の LED に信号を入力してもきおくさせることは出来ませんので、ご注意下さい。

7. 他のボタンにきおくを行いたい場合は、手順3から繰り返して下さい。

きおくを終了する場合は、学習ボタンを押して下さい。

マクロ登録方法（このマクロ機能は必要事項ではありませんが、便利な機能です）

ワンキーリモコンのマクロ登録方法は特殊なため、本項を熟読して下さい。

- マクロ機能 -

最大 10 ステップまでの操作プログラム(マクロ)を未設定のボタンに登録することが出来ます。

マクロを設定するには、「きおく」されたボタンが一つ以上必要です。

マクロの設定例

TV の電源が OFF の状態から、ボタンを 1 回押して NHK を見る場合。

電源 入力選択 2 桁の数字入力が必要とする TV を利用している場合の例。

1 . リモコンキットのボタンに、以下の信号が「きおく」されているとします。

1 : 電源

5 : アナログ

3 : 1

2 : 0

2 . ケースを開けて下さい。

P.S.2 を ON、P.S.1 を OFF に設定して下さい。

BEEP を ON にして下さい。

3 . 電源を入れるとピッと音が鳴り、ランプの 1 番(ケーブルが出ている側)が点灯します。

このモードでは、操作ボタンを押して離れたときにボタンの点灯場所が変わります。

操作ボタンを長押しするとピーッと音が鳴り、でリモコンキットのボタンを押したことになります。

ピーッと音が鳴ったあとに操作ボタンを離すと、ピッと音が鳴り操作可能状態になります。

4 . マクロに登録させたいボタンの位置まで、ランプの点灯を移動させて下さい。

たとえば、3 のランプを点灯させたい場合は

電源投入 1 のランプが点灯

操作ボタンを押して離す 2 のランプが点灯

操作ボタンを押して離す 3 のランプが点灯

となります。

5 . マクロに登録させたいボタンの位置までランプを移動させたら、本機のマクロボタンを長押しして下さい。

6 . マクロのランプが点滅表示になりましたら、操作ボタンを長押しして下さい。

正常に判定されると、ピーッと音が鳴りますので、操作ボタンを離して下さい。

操作ボタンを離れた際にピッと音が鳴ります。

この時、マクロランプが点滅から点灯に変わります。

7 . マクロに設定したいボタンのランプに素早く移動して下さい。

マクロに設定したいボタンのランプが点灯したら、ボタンを長押しして下さい。

ピーッとになったら、そのボタンが登録されます。

指を離すとピッと鳴りますので、次のボタンに素早く移動して下さい。

8 . 手順 7 を繰り返してマクロを設定して下さい。

9 . マクロの登録操作が終わりましたら、マクロボタンを押して下さい。

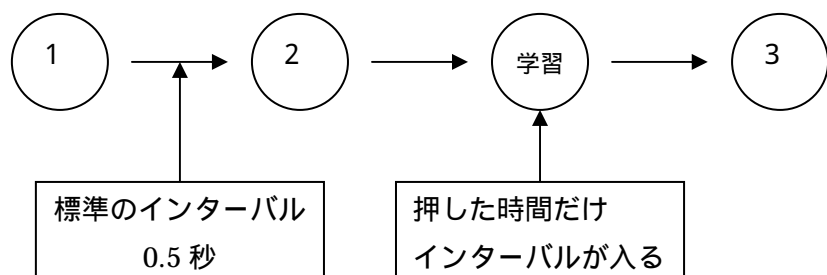
マクロが本機に登録されます。

マクロ設定中に 20 秒以上登録操作が行われないと、タイムアウトしてしまいます。

タイムアウトした場合、マクロは登録されませんので、再度登録操作を実施して下さい。

インターバルの設定

インターバルとは、マクロを設定した際に信号と信号の間に入れられる待ち時間のことです。たとえば TV の電源を入れてから次の操作を行えるようになるまで数秒かかる場合、インターバルを設定しないと次の操作が可能になる前に信号を送信してしまうためにチャンネルが切り替わらないということになりますが、このインターバルを設定することで正常に操作を行えるようになります。



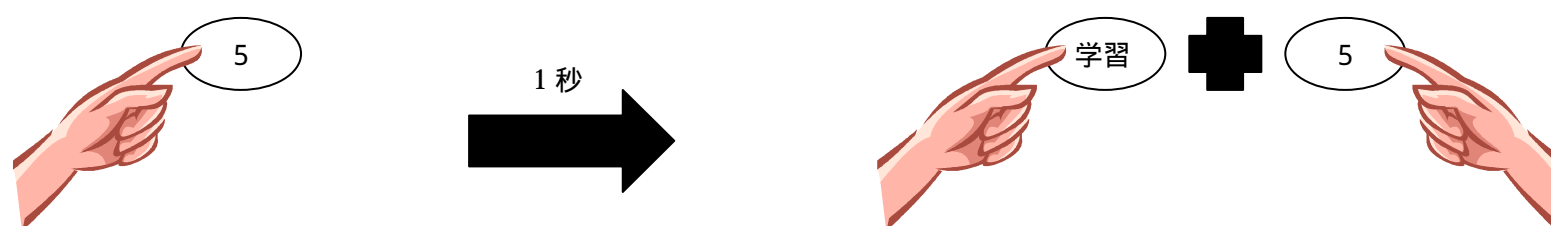
1. マクロ登録時に 2 ボタンと 3 ボタンの間にインターバルを設定したい場合、2 ボタンを選択した後で、学習ボタンを押します。この押している間学習のランプが点灯します。
2. 学習ボタンを押してランプが点灯している時間が、インターバルとして設定されます。

インターバルを設定しない場合、標準では 0.5 秒が設定されます。

登録後に変更することは出来ません。

「きおく」を消去する

1. 消去対象のボタンを選択し、長押し開始から 1 秒後に学習ボタンを押します。
2. ピーッと音が鳴ってから 3 秒間ボタンを押し続けて下さい。



3. 消去が成功すると、学習ランプが 2 回点滅します。

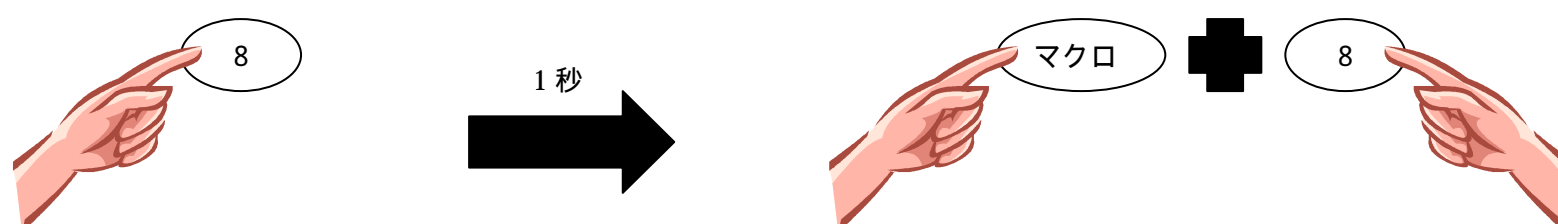
マクロ登録ボタンは消去できません。

マクロボタン、未登録ボタン、または何らかの理由により消去できなかった場合、ランプが 5 回点滅します。

電池が消耗している場合もランプが 5 回点滅します。この場合「きおく」の消去が出来ていませんので、新しい電池と入れ替えて再度「きおく」の消去の手順を行ってください。

マクロ登録を消去する

1. 消去対象のボタンを選択し、長押し開始から 1 秒後にマクロボタンを押します。
2. ピーッと音が鳴ってから 3 秒間ボタンを押し続けて下さい。



3. 消去が成功すると、マクロランプが 2 回点滅します。

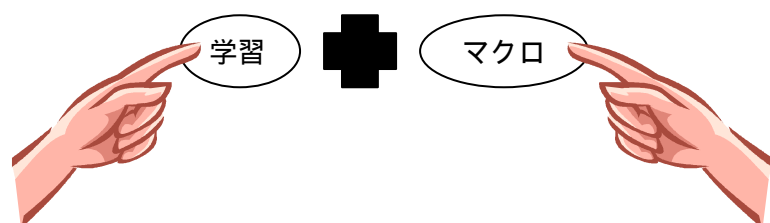
「きおく」させたボタンは消去できません。

「きおく」ボタン、未登録ボタン、または何らかの理由により消去できなかった場合、5 回点滅します。

電池が消耗している場合も 5 回点滅します。この場合マクロの消去が出来ていませんので、新しい電池と入れ替えて再度マクロの消去の手順を行ってください。

きおくとマクロの両方を全て消去する（オールクリア）

1. 学習ボタンを押しながらマクロボタンを押して、3 秒以上押し続けます。



2. 消去が成功すると、学習とマクロのランプが 2 回点滅します。

電池が消耗している場合、5 回点滅します。この場合「きおく」およびマクロの消去が出来ていませんので、新しい電池と入れ替えて再度オールクリアの手順を行ってください。

リモコンキット用 1 キー入力システム

リモコンキット用 1 キー入力システムには、以下の 3 つの動作が選択できます。

1 . 自動移動 (プログラム 1)

ボタンを押すと、リモコンキットの操作するボタンを選択する操作に入ります。
選択操作を行うと、ランプが付いているボタンを押したのと同じ動作を行います。
このランプは、2 秒ごとに自動で移動します。
操作が完了すると、ランプは消灯し、待機状態に戻ります。
また、操作がないと、100 回ループした後にランプが消えて待機状態に戻ります。

2 . 手動移動 (プログラム 3)

ボタンを押すと、リモコンキットの操作するボタンを選択する操作に入ります。
選択操作を行うと、ランプが付いているボタンを押したのと同じ動作を行います。
このランプは、ボタンを押して離す際に移動します。
操作が完了すると、ランプは消灯し、待機状態に戻ります。
1 分間操作がないと、ランプが消えて待機状態に戻ります。

3 . 手動移動 (プログラム 2) (無限繰り返し)

基本操作は 2 の手動移動と同じになります。
ただし、2 と異なり、操作を行わなくてもランプは消灯しません。
また、操作が完了した後、ランプは点灯したままになります。

スキャンタイム選択で 3 秒を選択した場合、3 秒ごとの移動になります。

スイッチの設定

動作を切り替えるスイッチが4つあります。

これらを切り替えまして、お客様が一番使いやすい動作に設定を行って下さい。

設定する内容については、以下を参考にして下さい。

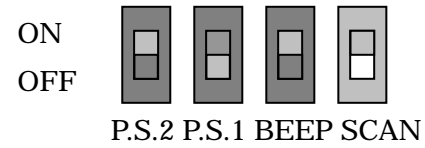
これらスイッチの設定を行うためにはケースを開ける必要があります。

SCAN

スキャンタイム、ボタン長押し時間を設定します。

この設定を変更した場合、自動移動の時間及び長押し時間が変更されます。

	SCAN
3秒	ON
2秒	OFF

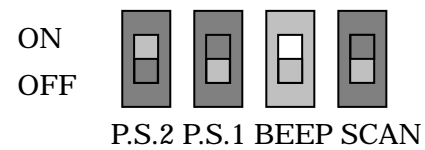


BEEP

ビープ音の有無を設定します。

ビープ音を止めた場合、エラー音も止まります。

	BEEP
音を鳴らす	ON
音を止める	OFF



PS1,PS2

キースキャンの設定を行います。

プログラムの内容については、前のページを参考にして下さい。

	P.S.2	P.S.1
プログラム1	OFF	OFF
プログラム2	ON	OFF
プログラム3	OFF	ON
N/A	ON	ON



N/A はプログラムが設定されていないため、「ピピピピッ」とエラー音が鳴ります。

上記の設定は電源投入時に設定されます。

電源を入れた状態でスイッチを切り替えた場合正常に動作しないばかりか、故障の原因になります。

そのため、スイッチを切り替える場合は、電源を取り外した状態で行って下さい。

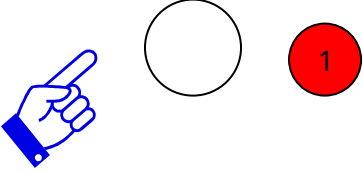
マークがついている設定が、工場出荷時設定になります。

自動移動(プログラム 1)

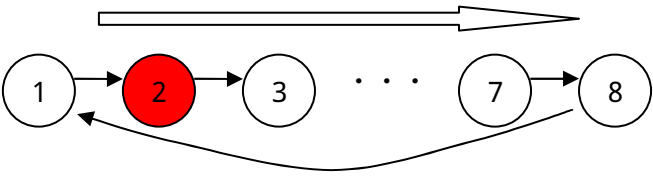
1. ボタンを押すとピピピッと音が鳴ります。



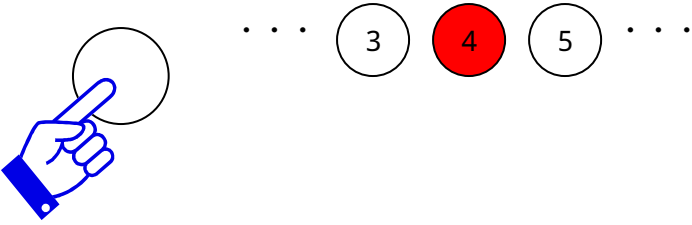
2. ボタンを離すと、ランプが点灯します。



3. ランプは、スキャンタイムで設定した時間毎に 1 から 2 へ、また 2 から 3 へと順次移動していきます。8 まで進みますと 1 へ戻ります。

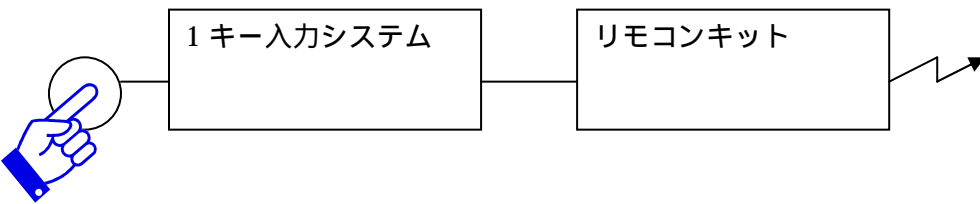


4. 操作したいボタンのランプが点灯したら、ボタンを 2 秒 長押ししてください。



スキャンタイムを 3 秒に設定した場合、3 秒の長押しに設定されます。

5. ピーッという音と共に信号が送信されます。信号はボタンを押している間送信されます。



マクロボタンは押し続けても 1 回しか送信されません。

「きおく」または「マクロ」が設定されていないボタンは、選択しても信号は送信しません。

1 分以上押し続けると、ピー、ピー、ピー、ピー、ピーと警告音が鳴り、送信が停止します。

6. ボタンを離すと、待機状態に戻ります。

100 回ループ (約 27 分) しますとランプが消灯し、待機状態に戻ります。

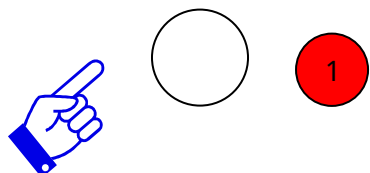
スキャンタイムを 3 秒に設定している場合、約 40 分になります。

手動移動（プログラム 3）

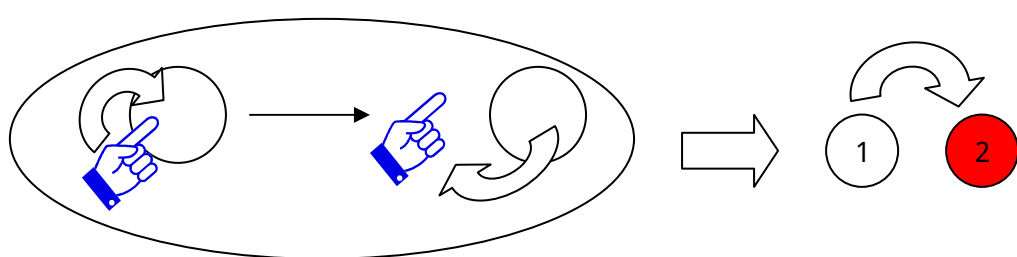
1. ボタンを押すとピピッと音が鳴ります。



2. ボタンを離すと、ランプが点灯します。

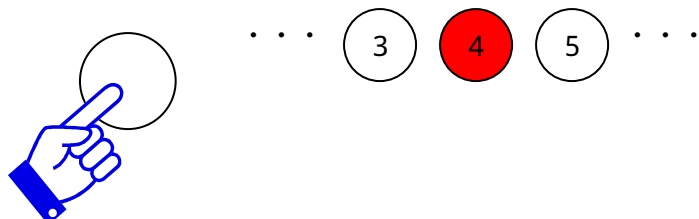


3. ボタンを押して離すたびに、ランプは 1 から 2 へ、また 2 から 3 へと順次移動していきます。



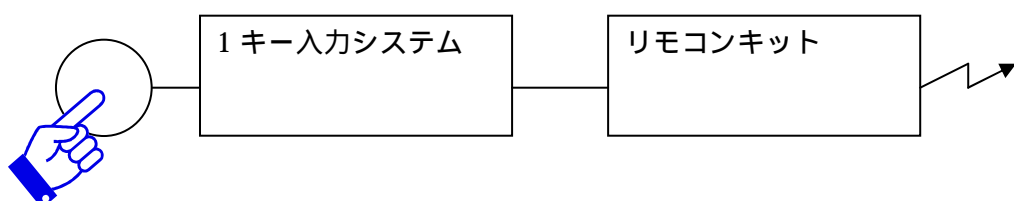
4. ランプは 8 まで進みますと、次は 1 へ戻ります。

5. 操作したいボタンのランプが点灯したら、ボタンを 2 秒 長押ししてください。



スキャンタイムを 3 秒に設定した場合、3 秒の長押しに設定されます。

6. ピーッという音と共に信号が送信されます。信号はボタンを押している間送信されます。



マクロボタンは 1 回しか送信されません。

「きおく」または「マクロ」が設定されていないボタンは、選択しても信号は送信しません。

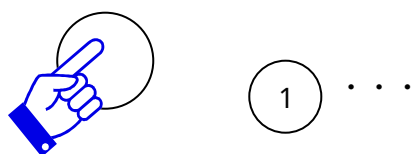
1 分以上押し続けると、ピー、ピー、ピー、ピー、ピーと警告音が鳴り、送信が停止します。

7. ボタンを離すと、待機状態に戻ります。

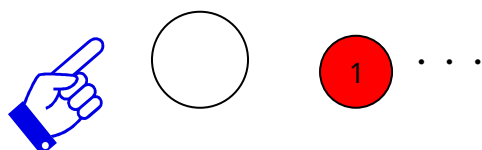
1 分間操作がない場合、ランプを消灯して待機状態に戻ります。

手動移動(プログラム2)(無限繰り返し)

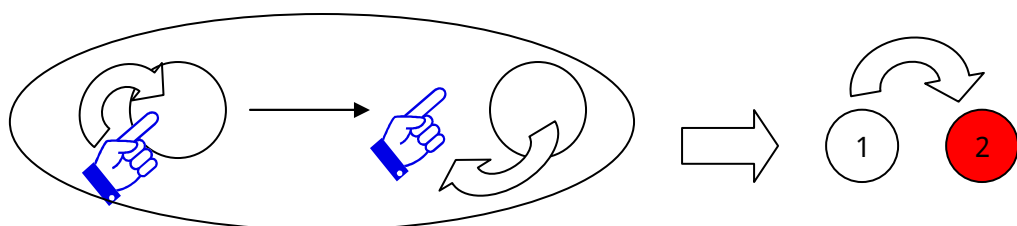
1. ボタンを押すとピッと音が鳴ります。



2. ボタンを離すと、ランプが点灯します。

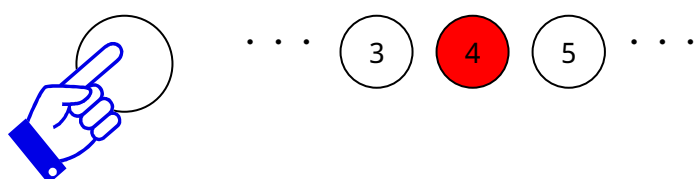


3. ボタンを押して離すたびに、ランプは1から2へ、また2から3へと順次移動していきます。



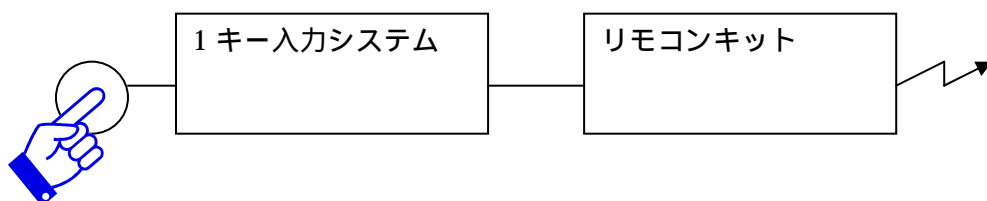
4. ランプは8まで進みますと、1へ戻ります。

5. 操作したいボタンのランプが点灯したら、ボタンを2秒 長押ししてください。



スキャンタイムを3秒に設定した場合、3秒の長押しに設定されます。

6. ピーッという音と共に信号が送信されます。信号はボタンを押している間送信されます。

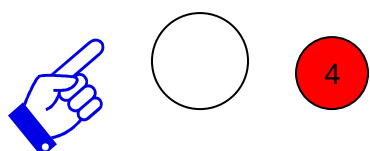


マクロボタンは1回しか送信されません。

「きおく」または「マクロ」が設定されていないボタンは、選択しても信号は送信しません。

1分以上押し続けると、ピー、ピー、ピー、ピー、ピーと警告音が鳴り、送信が停止します。

7. ボタンを離すとピピピッと音が鳴り、手順2に戻ります。



常にボタンの入力を受け付ける状態になっています。そのため、待機状態に戻りません。

利用可能なボタン

押すと ON、離すと OFF になるボタン

押したときに接続されるボタンです。一般的なボタンで市販されているボタンはほとんどのタイプになります。

押すと OFF、離すと ON になるボタン

押したときに切り離されるボタンです。

電源投入時にどちらのスイッチがつながれているか判定します。
そのため、電源投入時はスイッチを押さないようにお願いします。

利用できない又は実用的ではないボタン

押すたびに ON と OFF を入れ替えるボタン

TV 等の主電源に使われることが多いです。押した後ボタンが凹んだままになるものはほとんどがこのタイプになります。

押した瞬間のみ ON 又は OFF になるボタン

ほとんど出回っていないため通常見ることはありません。

ON と OFF が独立しているボタン

ON を押すと OFF が戻り、OFF を押すと ON が戻るボタンです。

その他特殊なボタン

上記以外のボタンやスイッチになります。

故障かな？ と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。

それでも正しく動作しないときは、ヘルツまでお問い合わせ下さい。

リモコンキット編

症状	処置
学習できない	学習モードに入っているか確認してください。
	お互いにリモコンを向かい合せているか、方向を確認してください。
	学習しようとしているボタンに、既に他の学習が入っていないか確認してください。
	学習しようとしているボタンに、既にマクロが設定されていないか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合、学習できません。
マクロが設定出来ない	マクロ設定モードに入っているか確認してください。
	マクロ登録しようとしているボタンに学習されているか確認してください。
	マクロ登録しようとしているボタンに、既に他の学習が入っていないか確認してください。
	マクロ登録しようとしているボタンに、既に他のマクロが設定されていないか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合マクロ設定できません。
信号が送信されない	学習されているか確認してください。
	正しく学習されているか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。
きおく / マクロが消えない	きおく / マクロボタンを押しながら指定のボタンを押しているか確認してください。
	消去しようとしているボタンにきおく / マクロ設定されているか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合消去できません。
オールクリアできない	ボタンを押す手順が間違っていないか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合オールクリアが実行できません。
インターバルが設定できない	マクロ設定中インターバルを入れたいところで「きおく」ボタンを、インターバルを入れたい時間だけ押ししてください。
	最初の信号の前及び最後の信号の後にインターバルは追加できません。

1 キー入力システム編

症状	処置
ボタンを押しても反応しない	電源が入っているか確認してください。
	ボタンが正しく繋がっているか確認してください。
	対応していないボタンが繋がっている可能性があります。 1 キー入力システムに対応したボタンを使用してください。
	待機状態で1分以上ボタンを押し続けると、ボタンを離してもランプは点灯しません。
信号が送信されない	電源が入っているか確認してください。
	リモコンキットが正しく動作しているか確認してください。
	リモコンキットと正しく接続されているか確認してください。
	リモコンキットの対応するボタンにきおく / マクロ設定されていない場合は、信号は送信されません。
ボタンを押しても次に進まない ボタンを押していないのに次に進む	プログラムの選択が間違っている可能性があります。 プログラム選択を確認してください。

良くあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用下さい。

<http://www.hertz-e.co.jp/>

問い合わせ先

株式会社ヘルツ

〒940-0084

新潟県長岡市幸町 1-9-1

TEL:0258-31-2375

FAX:0258-31-2376

Mail:info1@hertz-e.co.jp

URI:<http://www.hertz-e.co.jp/>